



2023年6月15日

各 位

会 社 名 フルハシ E P O 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 口 直 彦
(コード番号：9221 東証スタンダード市場・名証メイン市場)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 兼 総 務 部 長 上 野 徹
(TEL. 052-324-9088)

上場調達資金の充当状況並びに環境側面での改善インパクトについてのご報告

当社は、2021年12月30日付にて、上場調達資金の資金使途（充当天）に関し、環境側面の改善インパクト及び当社グループ自身の ESG への対応状況の評価について、国際資本市場協会が発行する「グリーンボンド原則 2021年版（Green Bond Principles; GBP）」の特性に基づく株式会社日本総合研究所の外部レビューを受け、「セカンドパーティ・オピニオン」を取得しております。

その後、当社は2022年4月21日付で、東証証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場に株式を上場いたしました。

セカンドパーティ・オピニオンにおいて、当社は、レポートイングとして調達資金を充当したグリーンプロジェクトの概要、充当した資金の総額、未充当資金が発生する場合はその額、対象事業による環境側面でのアウトプット/アウトカム及びインパクトを開示することとなっております。

つきましては、2023年3月31日時点における上場調達資金の充当状況並びに2022年4月1日～2023年3月31日までの1年間の環境側面の改善インパクトについて、以下のとおりご報告いたします。

1. 調達資金の充当状況（2023年3月31日時点）（※注1）

事業区分	対象事業	資金使途	充当予定 資金 (※注2) (百万円)	充当済 資金 (百万円)	未充当 資金 (百万円)	充当 状況	
再生可能エネルギー	PJ-1	「岐阜第二工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設 (リファイン)	50	50	0	完了
	PJ-2	「西東京工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設 (リファイン)	217	217	0	完了
	PJ-3	「愛知第八工場」におけるバイオマテリアル事業	工場の新設	135	1	133	実施中
汚染防止及び抑制	PJ-4	「東三河リサイクルガーデン」における資源循環事業	工場の新設	58	—	58	実施中 ※注3
	PJ-5	「新千葉リサイクルガーデン」における資源循環事業	工場設備の移転・拡充	6	6	0	完了
	PJ-6	「湘南リサイクルガーデン」における資源循環事業	生産設備の増設	25	—	25	実施中
合計				493	275	217	-

※注1 数値はすべて百万円未満を切り捨てしております。

※注2 2021年12月30日付のセカンドパーティ・オピニオン取得後、2022年3月18日付の「有価証券届出書」及び2022年4月13日付の「有価証券届出書の訂正届出書」（第2回訂正分）並びに2022年5月19日付の「第三者割当増資の結果に関するお知らせ」に記載しているとおりに上場時調達金額が決定しており、それにあわせた充当予定資金を記載しております。

※注3 2022年3月18日付の「有価証券届出書」、2022年4月5日付の「有価証券届出書の訂正届出書」（第1回訂正分）並びに2022年4月13日付の「有価証券届出書の訂正届出書」（第2回訂正分）に記載いたしました「手取金の使途」について、2023年2月21日付で公表いたしました「新株式発行及び株式売出し並びに親会社以外の支配株主の異動に関するお知らせ」に記載しているとおりに、以下のとおり変更が生じております。

①変更の理由

当社は、当該資金調達の手取金の一部を、2023年3月期に資源循環事業における処理量増加を目的とした設備投資資金として充当することを計画しておりました。しかしながら、設備投資計画のうち、当社の静岡第一工場（掛川）（バイオマテリアル事業）に併設して建設予定でありました掛川リサイクルガーデン（資源循環事業）について、より優位性を検討する中で、輸送効率の向上と環境配慮、工場機能の将来的な拡張性や既存顧客との連携性等を勘案し、中日本エリアの取引拡大を目的として東三河リサイクルガーデンに建設計画を変更したため、充当予定時期を変更いたしました。

②変更の内容

充当予定時期の変更は次のとおりです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

- ・バイオマテリアル事業における処理量増加を目的とした工場新設の設備投資資金として、402,532千円(2023年3月期287,009千円、2024年3月期以降115,523千円)
- ・資源循環事業における処理量増加を目的とした生産設備の増設及び工場設備の移転・拡充の設備投資資金として、91,100千円(2023年3月期91,100千円)

(変更後)

- ・バイオマテリアル事業における処理量増加を目的とした工場新設の設備投資資金として、402,532千円(2023年3月期287,009千円、2024年3月期以降115,523千円)
- ・資源循環事業における処理量増加を目的とした生産設備の増設及び工場設備の移転・拡充の設備投資資金として、91,100千円(2023年3月期43,164千円、2024年3月期以降47,936千円)

2. 環境側面の改善インパクト (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) アウトプット/アウトカム

①発電用途燃料(木質チップ)供給量

対象事業		発電用途燃料 (木質チップ) 供給量 (トン/年)	算出根拠・理由
PJ-1	「岐阜第二工場」における バイオマテリアル事業	3,900	当社出荷実績より算出しております。
PJ-2	「西東京工場」における バイオマテリアル事業	3,770	当社出荷実績より算出しております。
PJ-3	「愛知第八工場」における バイオマテリアル事業	0	工場稼働前のため木質チップ供給の実績はありません。
合計		7,670	

②ボイラー用燃料、製紙・ボード・繊維板等原料（木質チップ）供給量

対象事業	ボイラー用燃料、製紙・ボード・繊維板等原料（木質チップ）供給量（トン／年）	算出根拠・理由
PJ-1 「岐阜第二工場」におけるバイオマテリアル事業	3,448	当社出荷実績より算出しております。
PJ-2 「西東京工場」におけるバイオマテリアル事業	2,475	当社出荷実績より算出しております。
PJ-3 「愛知第八工場」におけるバイオマテリアル事業	0	工場稼働前のため木質チップ供給の実績はありません。
合計	5,923	

③建設副産物回収量・再資源化量・廃棄物量（焼却・最終処分量）

対象事業	建設副産物回収量・再資源化量・廃棄物量（焼却・最終処分量）（トン／年）	算出根拠・理由
PJ-4 「東三河リサイクルガーデン」における資源循環事業	0	工場稼働前のため建設副産物回収・再資源化・廃棄物の実績はありません。
PJ-5 「新千葉リサイクルガーデン」における資源循環事業	0	工場稼働前のため建設副産物回収・再資源化・廃棄物の実績はありません。
PJ-6 「湘南リサイクルガーデン」における資源循環事業	0	工場稼働前のため建設副産物回収・再資源化・廃棄物の実績はありません。
合計	0	

(2) 環境側面の改善インパクト (SDGs への貢献可能性)

対象事業	環境側面の改善インパクト (SDGs への貢献可能性) の定性評価	
PJ-1 「岐阜第二工場」におけるバイオマテリアル事業	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	木質バイオマス発電所向けの木質チップの供給 (3,900 トン/年) により、再生可能エネルギー由来の電力の供給が実現しています。
	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	木質廃材をボイラー用燃料や製紙・ボード・繊維板等原料として木質チップにリサイクルすることにより廃棄物の削減 (3,448 トン/年) が実現しています。
	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	木質廃材等を製紙原料として木質チップにリサイクルすることにより製紙工程におけるバージン材消費の抑制 (538 トン/年) が実現しています。
PJ-2 「西東京工場」におけるバイオマテリアル事業	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	木質バイオマス発電所向けの木質チップの供給 (3,770 トン/年) により、再生可能エネルギー由来の電力の供給が実現しています。
	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	木質廃材をボイラー用燃料や製紙・ボード・繊維板等原料として木質チップにリサイクルすることにより廃棄物の削減 (2,475 トン/年) が実現しています。
	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	木質廃材等を製紙原料として木質チップにリサイクルすることにより製紙工程におけるバージン材消費の抑制 (163 トン/年) が実現しています。

対象事業		環境側面の改善インパクト（SDGs への貢献可能性）の定性評価	
PJ-3	「愛知第八工場」におけるバイオマテリアル事業		工場稼働前のため、木質バイオマス発電所向けの発電用途燃料（木質チップ）の供給はありませんが、稼働後は木質チップ供給を通じた再生可能エネルギー由来の電力供給への貢献が期待できます。
			工場稼働前のため、ボイラー用燃料や製紙・ボード・繊維板等原料（木質チップ）の供給はありませんが、稼働後は木質資源のリサイクルにより廃棄物の削減への貢献が期待できます。
			工場稼働前のため、製紙原料（木質チップ）の供給はありませんが、稼働後は木質資源のリサイクルによりバージン材消費の抑制に貢献し、森林資源の保全及び持続的な利用の実現への貢献が期待できます。
PJ-4	「東三河リサイクルガーデン」における資源循環事業		工場稼働前のため、建設副産物のリサイクルの実績はありませんが、稼働後は建設副産物の回収・再資源化により廃棄物の削減への貢献が期待できます。
PJ-5	「新千葉リサイクルガーデン」における資源循環事業		工場稼働前のため、建設副産物のリサイクルの実績はありませんが、稼働後は建設副産物の回収・再資源化により廃棄物の削減への貢献が期待できます。
PJ-6	「湘南リサイクルガーデン」における資源循環事業		工場稼働前のため、建設副産物のリサイクルの実績はありませんが、稼働後は建設副産物の回収・再資源化により廃棄物の削減への貢献が期待できます。